

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のための
都道府県ブロック会議（愛知県開催） 実施要綱

1 目的

地域生活支援拠点等の現状の課題や傾向等を把握し、未整備の自治体の整備促進（底上げ）や好事例自治体の横展開を図りつつ、地域生活支援拠点等のあり方を検討する。

2 内容

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のための都道府県ブロック会議（以下「ブロック会議」）においては、地域生活支援拠点等の積極的な整備や、必要な機能の強化・充実に資するよう、厚生労働省職員からの説明・情報提供、市町村等からの事例報告、ブロック会議の参加者相互の意見交換等を行う。

3 主催

厚生労働省、愛知県

4 開催日時・場所

平成30年12月25日（火）午前10時～午後5時
愛知県自治センター 12階 会議室E（名古屋市中区三の丸三丁目1番2号）
※ 当日のスケジュールについては、議事次第のとおり

5 参加対象者

(1) 対象

愛知県内の地域生活支援拠点整備の中核を担う市町村職員（中核を担う事業所等の職員の同伴も可）とし、各市町村1～2名とする。

なお、定員に余裕がある場合は、岐阜県、三重県、静岡県内の自治体職員の参加を認めることとする。

(2) 定員

100人

6 グループワークの実施

(1) 事前提出資料

グループワークで使用するため、参加する市町村は、愛知県が指定する日までに、意見交換用ワークシート（別紙様式）を提出すること。

(2) グループワークの留意点

グループワークは、それぞれの市町村の現状と把握している課題、今後の整備方針を中心に意見交換を行うので、当日発表できるように事前にまとめておくこと。

また、グループワークで活発な質疑ができるよう、同じグループとなる市町村のワークシートを事前に送付するので、事前に目を通し疑問点等を確認しておくこと。

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のための
都道府県ブロック会議（愛知県開催） 議事次第

平成30年12月25日（火）

愛知県自治センター 12階 会議室E

時間	内容	担当
10:00～10:05	5分 開会挨拶	愛知県健康福祉部障害福祉課 課長 植羅哲也
10:05～10:45	40分 行政説明	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 相談支援専門官 大平眞太郎
10:45～11:05	20分 事例発表【整備済自治体】	半田市地域福祉課
11:05～11:15	10分 質疑応答	主事 村瀬洋紀氏
11:15～11:35	20分 事例発表【未整備自治体】	蒲郡市福祉課
11:35～11:45	10分 質疑応答	主事 辻村昌規氏
11:45～12:00	15分 意見交換会に際しての留意点	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課
	休憩	
13:00～13:15	15分 質問シートへの回答	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課
13:15～15:15	120分 意見交換会 ・自己紹介、司会・記録者等選出 ・ワークシート発表（発表5分、 質疑3分） ・意見交換（60分）	ファシリテーター 愛知県地域アドバイザー 愛知県専門アドバイザー
15:30～16:45	75分 各グループによる発表 ・発表（発表5分、講評3分）	講評 愛知県スーパーバイザー
16:45～16:55	10分 事例発表、意見交換会への総評	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課
16:55～17:00	5分 閉会挨拶	愛知県健康福祉部障害福祉課 課長 植羅哲也
17:00～	レイアウト変更後、解散	

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のための
都道府県ブロック会議(愛知県開催)
(参加者アンケート)

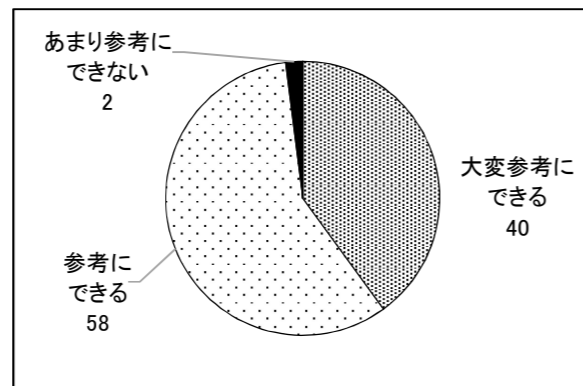
参加者数(一部出席者を含む)

	厚労省	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	計
国・県職員	2	9	1	4	1	17
市町村職員		61	11	8	6	86
委託相談支援事業所等		10		2		12
SV・ファシリテーター		18				18
計	2	98	12	14	7	133

問1 今回の会議の感想をお伺いします。

1. 行政説明について

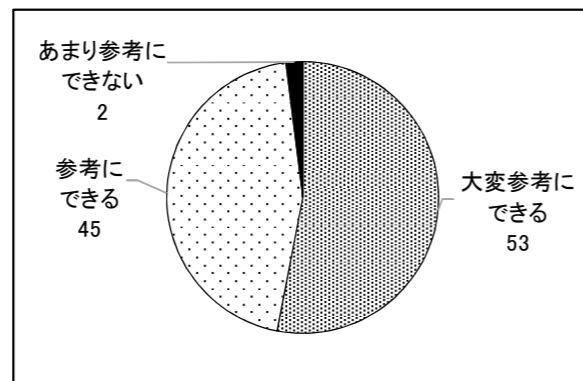
A 大変参考にできる	40
B 参考にできる	58
C あまり参考にできない	2
D 参考にできない	0
計	100



- ・改めてポイントが整理できた。拠点の整備とは何かが少しクリアになった。
- ・加算要件の具体的事例が聞けて良かった。
- ・質疑応答が参考となった。
- ・時間が短かった。全体的にもう少し話を聞きたかった。
- ・加算や報酬改正について、もう少し詳しく聞きたかった。
- ・概ね知っている内容であった。

2. 事例発表について(半田市)

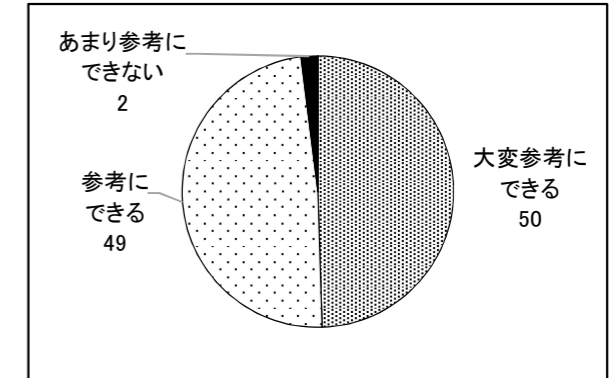
A 大変参考にできる	53
B 参考にできる	45
C あまり参考にできない	2
D 参考にできない	0
計	100



- ・既存の社会資源を有効活用している点よかった。
- ・実際に動いている事例、事業に触れられてよかった。
- ・高齢者施設の活用は考えていなかった、とても参考になった。
- ・24時間体制は定着支援とのすみ分けで解決できそうだというヒントが得られた。
- ・市単独で人材育成をしているという話は、とても参考となった。
- ・民営化をする際の居室確保や、障害児通所施設との協定締結が参考になった。

3. 事例発表について(蒲郡市)

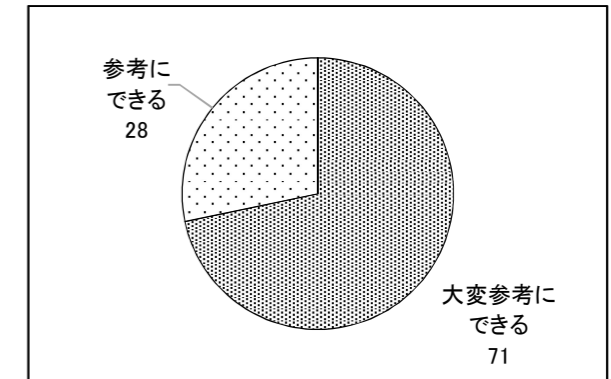
A 大変参考にできる	50
B 参考にできる	49
C あまり参考にできない	2
D 参考にできない	0
計	101



- ・多くの課題が整理されており、取り組む方向を検討するにあたり参考となった。
- ・居室確保料を払うのではなく、その都度利用料を払う形で事業所と話ができればよいと思った。
- ・自治体によって整備済・未整備の考え方が違うことが分かった。
- ・認定証の交付、福祉ホームや地域生活支援事業の活用が参考になった。
- ・緊急時受け入れの想定フロー、食費・直接対応費用等の予算計上が参考になった。
- ・緊急時対応に市職員が関わると聞いて驚いた。
- ・事業所任せではなく、市職員のスキルアップが必要だと思った。
- ・作っていくプロセスをもう少し詳細に聞きたかった。

4. 意見交換会について

A 大変参考にできる	71
B 参考にできる	28
C あまり参考にできない	0
D 参考にできない	0
計	99

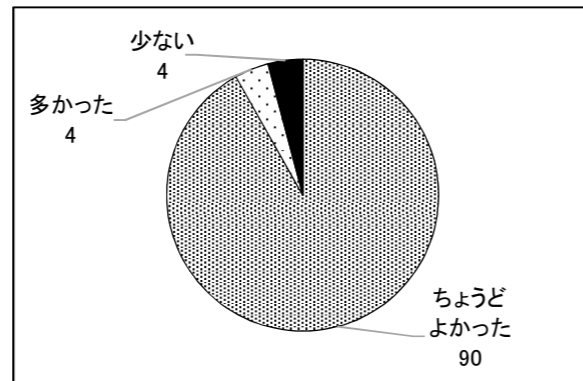


- ・各自治体の具体的な内容が聞けて良かった。
- ・共通課題がたくさんあり、皆同じような悩みを抱えているので、解決策の参考となった。
- ・担当レベルでの話し合いができ、貴重な意見交流の場となった。
- ・どうしたらよいか出口は見つからなかったが、イメージを多少なりとも作ることができた。
- ・各市の実情や課題、つまづきがよく分かった。
- ・ファシリテーターやタイムキーパーがいて、とても上手に進めてもらえた。
- ・拠点整備について、協議会や事業者を巻き込んでいく必要性を感じた。
- ・グループごとに違うテーマで検討してもよかった。
- ・未整備だけのグループだったので、解決策の議論が進まなかった。
- ・それぞれの自治体の背景が異なり、参考とならない事例もあった。
- ・人数やボリュームが多すぎて、深掘りできなかった。
- ・もう少し論点を絞るとよかった。
- ・途中でグループ構成の変更があってもよかった。

問2 今回の会議を通じて、当てはまる番号に○をつけ、その理由をご記入ください。

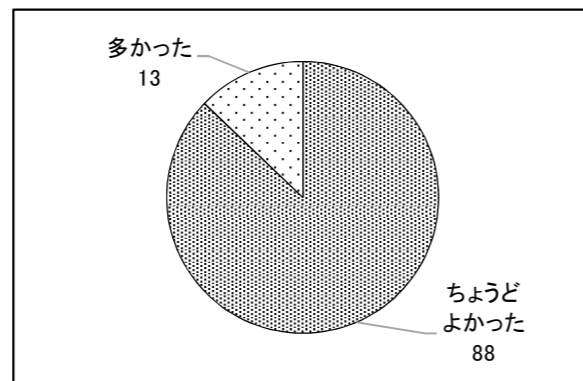
(1) 事例発表の数について(数を少なくして深く聞きたい、多くの事例を聞きたい、等)

1 ちょうどよかった	90
2 多かった	4
3 少ない	4
計	98



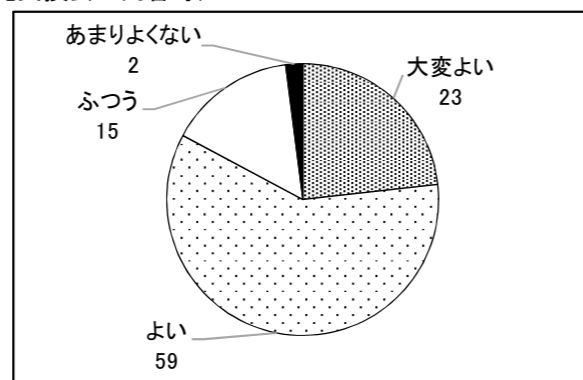
(2) 意見交換会の人数について(グループの人数が適切であったか)

1 ちょうどよかった	88
2 多かった	13
3 少ない	0
計	101



(3) 全体のプログラムの構成について(事例発表・意見交換会の内容等)

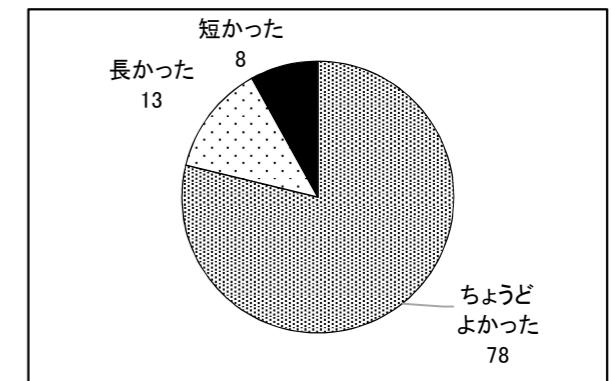
1 大変よい	23
2 よい	59
3 ふつう	15
4 あまりよくない	2
5 よくない	0
計	99



- ・意見交換会のメンバー構成がよかった。
- ・意見交換会について、事前にしっかりと示されていたので、計画的にできた。
- ・自立支援協議会についての話題ができるよかった。
- ・類似の状況の自治体の事例・取組が参考になった。
- ・民間と行政が混じっていてもいいと思った。

(4) 全体のタイムスケジュール(時間配分等)

1 ちょうどよかった	78
2 長かった	13
3 短かった	8
計	99



- ・意見交換会の時間がもっと欲しかった。
- ・行政説明をもう少し詳しく聞きたかった。
- ・午前中に休憩が欲しかった。
- ・グループワークを短くして、説明がもう少し長いとよかった。
- ・グループワーク後の共有が長かった。もっと少なくともよかった。
- ・短かったので、2日間でもよかった。
- ・1日出張するのが難しいので、2日間に分けてほしい。

(5) 拠点等の方針に関して(国への要望等)

- ・もっと事例の公表をしてほしい。(圏域設置、小規模自治体、介護保険施設の活用)
- ・拠点の整備済について、基準を明確にしてほしい。
- ・Q&A等の情報提供をしてほしい。
- ・拠点にかかる加算の仕組みをもっとわかりやすくしてほしい。
- ・加算などの優遇措置を充実させてほしい。
- ・加算がとりにくい。加算のための資料作成の手間がかかりすぎる。
- ・加算について、より詳細なQ&A等を作ってほしい。
- ・加算の条件について、もっと明確にしてほしい。
- ・地域生活支援拠点コーディネーターの役割がわからない。
- ・地域生活支援事業費補助金の交付率を上げてほしい。
- ・拠点に関連する地域生活支援事業費補助金については、全額交付してほしい。
- ・地域生活支援事業や交付税措置ではなく、拠点に直結する予算を新設してほしい。
- ・通所事業所の体験宿泊の後押しをしてほしい。
- ・グループホームでの緊急時受け入れについて、事業所のメリットが欲しい。
- ・日中一時支援で緊急対応をした場合の人員体制や給付費などの柔軟な対応をしてほしい。
- ・通所事業所や事業所以外の場所で宿泊を伴う支援を行う場合、消防法の問題をクリアしてほしい。
- ・アドバイザー派遣をしてほしい。
- ・PDCAで振り返るような仕組みがあるとよい。
- ・拠点という言葉が独り歩きして何でも解決するイメージがついているので、しっかり周知してほしい。
- ・研修に対する補助を新設してほしい。
- ・研修が受講しやすいように、都道府県単位で開催してほしい。
- ・委託なしでは相談支援事業は成り立たない。相談員確保のため、基本報酬を考えてほしい。
- ・相談支援事業について、基幹、拠点、委託のすみ分けが難しい。
- ・月40件以上の減算では、新たな相談に対応しなくなる。